



ニコニコ箱

ありがとうございました

瀧川 嘉彦さん 濱田先生、卓話よろしくお祈りします。

後 亮さん 東ロータリー会員の割引特典を使って、家族で和歌山トライアングルの試合を観戦してきました。横に家族がいるのを忘れるぐらい興奮しました！

林 毅さん 本日、前場日経平均年初来高値です。

村田 昌之さん 濱田さん本日はありがとうございます。

笹島 良雄さん 幹事さんのピンチヒッターです。村田会長とは13年振りの会長・幹事コンビです。

佐藤 義記さん 濱田様、本日卓話宜しくお祈りします。

阪神タイガース応援団一同

本日の累計 15,500円(計6名 7件)(誕生日献金 198,000円 皆出席表彰 5,000円 その他 819,481円 累計額 1,022,481円)

	クラブ名	日 時	内 容
市内ロータリークラブ情報	和歌山城南R. C.	12月 5日(木)	年次総会
	和歌山南R. C.	12月 6日(金)	年次総会
	和歌山中R. C.	12月 6日(金)	クラブ年次総会
	和歌山北R. C.	12月 9日(月)	第2回I. D. M. 発表
	和歌山アゼリアR. C.	12月 9日(月)	卓話「1965～1970年までの私の恋する車」栗山 久 会員
	和歌山R. C.	12月10日(火)	卓話「農業の産業化、新しい農業について」(株)農業総合研究所 代表取締役CEO 及川 智正さん
	和歌山西R. C.	12月11日(水)	例会変更
	和歌山東南R. C.	12月11日(水)	上半期活動報告②

本日の例会 12月5日(木)

- 年次総会「次々期会長、次期副会長、次期幹事、次期会計、次期理事選出」
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
花通り(服部 克久)
アマデウス通り(服部 克久)

前回の例会 11月28日(木)

- 卓話「社員活力の引き出し方!」
～社長に必要なコミュニケーション術～
紀の州コンサルティング
中小企業診断士・社会保険労務士 濱田 智司さん
- ロータリーソング 乾 敦雄 ソング委員長
「我らの生業」

次回の例会 12月15日(日)PM.6:30～ 於ダイワロイネットホテル和歌山4F

●クリスマス家族会

出席報告		会員数 43名(内出席規定適用免除会員16名)		乾 敦雄 出席委員長	
11月28日(本 日)	24名	68.6%	11月14日(メーキャップ後)	31名	86.1% (欠席5名)

皆さん、出席してください。

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 会報・広報委員会 亀田 直紀 後 亮 谷口 文利 笹島 良雄 吉増 亨



ENGAGE ROTARY

CHANGE LIVES

凛として原点に

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**
 URL <http://www.werc.jp> E-mail info@werc.jp

2013～2014年度
和歌山東ロータリーのテーマ

2013～2014年度
国際ロータリーのテーマ

2013年12月5日(木)
週報 / VOL.55 No.22
(通巻2615)

● 会長報告 村田 昌之 会長

先週は未来の夢計画について述べました。今週は新補助金の概要についてまとめてみました。

1. 新補助金とグローバル補助金の共通点
 両補助金共、奨学金、人道プロジェクト、職業研修チームの三つの活動から成ります。新地区補助金も、グローバル補助金もロータリー財団補助金全般にわたる条件を守らなければなりません。また、用途の制限があります。

2. 新補助金体制における六つの重点分野
 ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は未来の夢計画の一環としての新補助金体制における六つの重点分野を承認し、リストを作成しましたが、これだけに限定されるものではなく、クラブ、地区共に創意を發揮するプロジェクトを開発して、地域の要望にこたえるべきだと思います。

①平和と紛争予防/解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生設備 ④母子の保健
 ⑤基礎教育と識字率向上 ⑥経済開発と地域開発

3. 新地区補助金とグローバル補助金の違い
 簡単に言って、新地区補助金は地区の裁量で決める範囲が広く、グローバル補助金はロータリー財団の制約が厳しいということになります。

新地区補助金	グローバル補助金
国内、海外両方のプロジェクトに使えます。	名称の通り、海外のクラブや地区と協力します。
従来の地区補助金を基盤としています。従来のマッチング・グラント、国際親善奨学金、研究グループ交換も少し形を変えて取り入れています。	従来のマッチング・グラント、国際親善奨学金、研究グループ交換を包括しています。
地区が管理するblock grant(一括して授与される補助金)。地区の裁量で補助金を使えますが、他団体への補助金は、単なる寄付であってはなりません。クラブや地区が希望する事業に基づき補助金を授与し、他団体は具体的報告書を提出します。	競争制でロータリー財団が1件ずつ授与。但し、提唱者毎に10件まで(オープンプロジェクトは10件ということです)。11件目を申請するときは1件を終わらせなければなりません(最終報告を提出して認められること)。
1種類	2種類の補助金 ●クラブ&地区計画補助金 ●パッケージ・グラント
ロータリー・クラブのない国や地域でも利用できます。	ロータリー・クラブのある国や地域に限定されています。
地区財団活動資金(DDF)のみ使用できます。	地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)の両方を使用できます。DDFとWFについては第10を参照のこと。

財団とのマッチングはありません。	クラブ&地区計画補助金の場合、WFとのマッチングがあります。マッチングについては注6を参照。
3年前の年次寄付と恒久基金収益に基づくDDFの50%が上限。	3年前の年次寄付と恒久基金収益に基づくDDFの50%が下限。
このパーセンテージについては、3年間(2010-13年度)のパイロット期間中は一定であるが、以後は毎年見直されます。	
補助金の額に上限と下限はありません。地区の裁量です。未使用の場合、DDFに繰り入れられません。	クラブ&地区計画補助金 補助金は15,000ドルから200,000ドル パッケージ・グラント： 20,000ドル以上WFに返還 されます。(WFから補助金を受けているためです。) 受け取ったWFの補助金以上の金額を返還する場合は、その差額は提唱者側に返還されます。
ロータリー財団の使命に関連があり、使命を守るものであること。ロータリーにふさわしいものであれば、プロジェクトの種類に制約がありません。	重点分野に該当するプロジェクトのみ ●平和と紛争予防/解決 ●疾病予防と治療 ●母子の保健 ●水と衛生設備 ●基礎教育と識字率向上 ●経済開発と地域開発 <u>この重点分野は固定化されたものではありませんが、旧プログラムが消え、新しい補助金が浸透してくる期間を見込み、当初9年間は、変更されることはありません。</u>
望ましくは 18カ月以内 に完了するプロジェクトまたは活動であること。	長期プロジェクト(奨学金を除き3-4年で完了すること)。
持続性のあるプロジェクトが望ましいが、必須事項ではないこと。	持続性を奨励、または義務付けること。
協力団体(cooperating organization)を使う場合があります。協力組織との関係はありません。	協力団体を使う場合もあります。パッケージ・グラントの場合、協力組織(strategic partner)との提携があります。
新築は不可。改築は可。	管理委員会承認の下に協力組織(協力団体ではない)と共に建設プロジェクトに使うことができます。
次の条件に従っている地区が利用できます。 1. 地区は 参加資格 がなければなりません。	次の条件に従っているクラブと地区が利用できます。 1. 地区は 参加資格 がなければなりません。 2. クラブは地区から 参加資格 があると認められていなければなりません。 3. クラブ&地区計画補助金の場合、2カ国以上が参加しなければなりません。 4. 援助提供側と援助受領側のクラブと地区が実際に汗を流す活動をしなければなりません。
ロータリー・ボランティアの海外への旅費を支給できません。但し、ロータリアンが海外の 全国ポリオ予防接種日に旅行する費用については承認されません。各種活動に使うべきだという見解です。 (2011年6月管理委員会決定)	支給できません。
	日本では 多国籍地区は第2750地区のみですが、その場合、第2750地区の東京地区が同一地区内の Gum でプロジェクトを実施する際、地区が主要な援助提供者(primary sponsor)になることはできません。地区内クラブなら可。

*2010年10月の管理委員会決定:現在の授与と受諾の条件は2011年7月版ですので若干その後改定されています。

4. 参加資格

参加資格とは、今までにない概念ですが、地区もクラブも新地区補助金とグローバル補助金の申請前にあらかじめ参加資格(Qualification)を得ておかなければなりません。参加資格とは補助金を受ける資格という意味です。

それを得るためには、地区ガバナー、ガバナーエレクト、地区財団委員長がオンラインを通じて行います。以上、新補助金について重要なところを簡単に説明させていただきました。

● 幹事報告

笹島 良雄 副幹事



上中幹事、欠席により代役を務めます。

①私は2001-2002年の幹事役でした。その期は現村田会長が会長さんでした。

今日は昔日のコンビです。村田会長は現在体調必ずしも完全ではないにもかかわらず、熱意と誠意で真のロータリアンとして活躍して居られ、敬服して居ります。

②「世界エイズデー2013 in 和歌山」の御礼

11月23日(土)和歌山大学構内に於いて開催されました。今年和歌山東ロータリークラブがお世話しました。大変多くのセクションの方々の応援を頂き内容のあるイベントとなり、関係者から感謝されました。協力賜りました皆様に厚く御礼を申し上げます。

③田辺ロータリークラブ40周年記念ゴルフ大会

開催日 2014年4月19日(土) 場所 ラビーム白浜ゴルフクラブ
御参加出来る方は、早めに事務局に一報下さい。

④第4回日台親善会議の案内

日時 2014年1月26日 14:00-20:30 場所 台北 円山大飯店
細部、事務局に問い合わせ下さい。

● 卓話「社員活力の引き出し方 ~社長に必要なコミュニケーション術~」

紀の州コンサルティング 中小企業診断士・社会保険労務士 濱田 智司さん



昨今「社員に活力がない」と嘆く経営者が、多数いらっしゃいます。彼らが何を考えているかわからないため、「消極的だ」とか「言っていることが的を得ない」などと社員の能力不足を原因としてしまいがちです。

しかし、実は根本的な原因が、私たち経営者と社員との立ち位置(位置関係)にあることは、意外と分かっていないのではないのでしょうか。

「私たち経営者は、社員に対し、権力武装と情報武装といった二つの武装をして、会話をしているのです。」

権力武装とは、使用者、指示者としての武装のことをいい、情報武装とは、労務情報、研修で得た知識など情報所有者としての武装をいいます。つまり私たちが社員と会話するときは、既に抜き身の刀(武装という刀)を振りかざした状態で、社員からの返答を待っているのです。

「何でもいいから言ってみなさい」と優しい顔をして言っても、右手にキラリと光る刃を持っていたら、社員は萎縮してしまいます。

では、どうしたら良いかというと、社員との会話の場合には、常に3つの視点に注意することが必要です。3つの視点とは、「目的の視点」「相手の視点」「自己の視点」です。「目的の視点」とは、常に「何のため」を考えて、そして部下とも「何のため」かを説明することで、話がぶれないコミュニケーションをとることができます。次いで、「相手の視点」ですが、これは、「相手の立場に立ってみるとどう考えるのか!」を常に会話の中でみなさんが考えていくことです。最後の「自己の視点」では、常に自分を律して、会話に望むことです。社員は、私たち経営者の一挙手一動に目を光らせています。社員が「な〜んだ!」と呆れる行いは絶対にしてはなりません。

私たち経営者と部下である社員との関係は、それこそ様々な関係が存在します。その中で、常にベストのコミュニケーションを引き出し、社員活力を醸成するためには、上述の「3つの視点」を常に頭にいれ、会話の際に自らに問い続けることが重要です。